

表情が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、未来が変わる。

Global Village for Students

解説書



Our Mission

世界の人々との協働を通じて
明るい未来を実現する。

Creating a bright future through
collaboration with people around the
world.

Learn by Experience



What is Global Village?

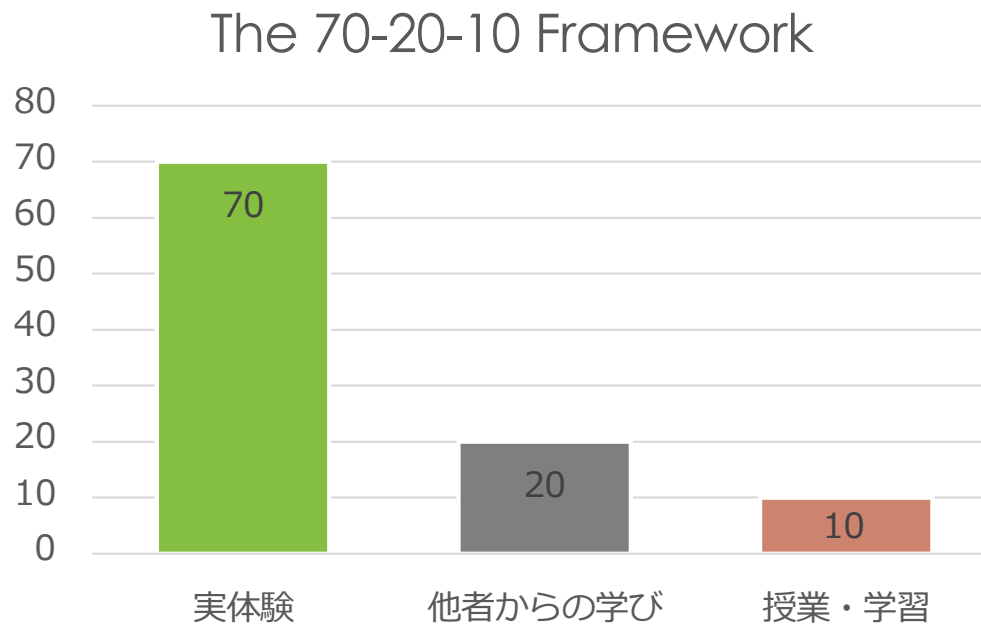
Global Village for Students (GVS) は、グローバルな視点と英語コミュニケーション体験を提供するプログラムです。
日本で学ぶ留学生によるコミュニティ [Global Leader Team \(GLT\)](#) のメンバー（グローバルリーダー）と「共通語としての英語」を使った活動・交流をすることで、多様な文化に対する理解を深め、英語を使ったコミュニケーション力を身につけることを目的としています。



Why Learn by Experience?

実体験こそが子どもの成長を加速させる！

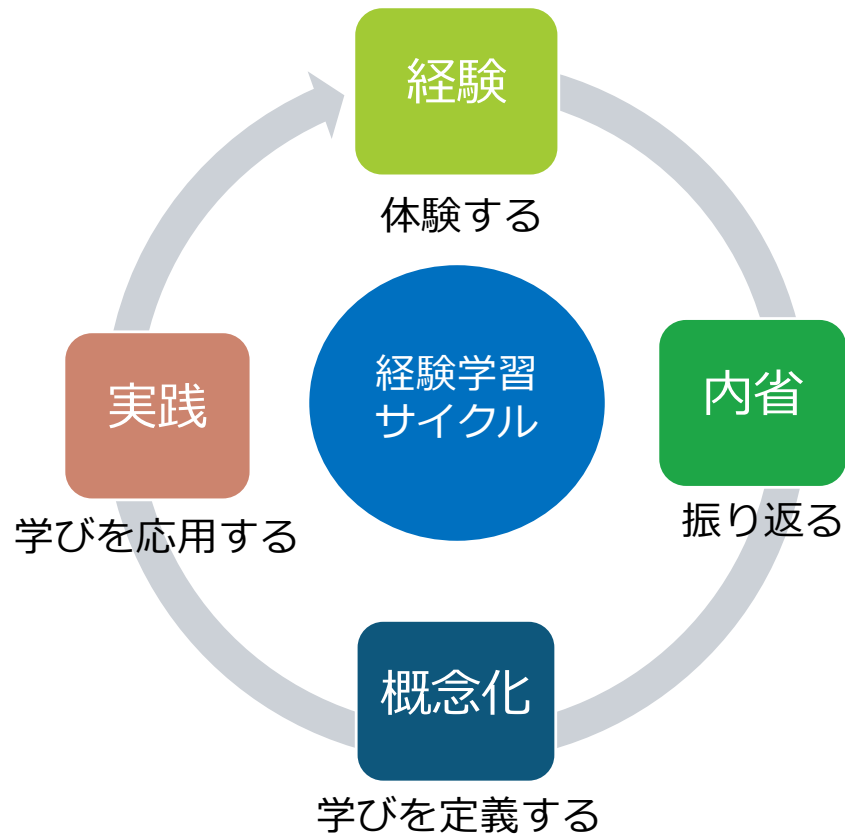
LbEは、経験による学びの価値を大切にし、子ども達の成長を支援します。



個人の能力開発についての影響度合い
(ロミンガーの法則)

- 70% — 実体験
Experiential Learning
- 20% — 他者からの学び
Social Learning
- 10% — 授業・学習
Formal Learning

Why Learn by Experience?



実体験から得た学びを定着させる 3つの成長支援

1. 参加者の既存知識やスキルに基づくプログラムデザイン
2. 現実社会で起きていることから学ぶことにより参加者がより「自分ごと」として考える機会の提供
3. 参加者が経験から得た学びを確認し、定着させる振り返り

プログラムで育む3つの力

Global Villageで参加者が得るもの

■ グローバルコンピテンス

異なる文化や背景を持つ人々とのコミュニケーションや協働において、相手を理解し尊重し、共感する力

■ 英語スキル

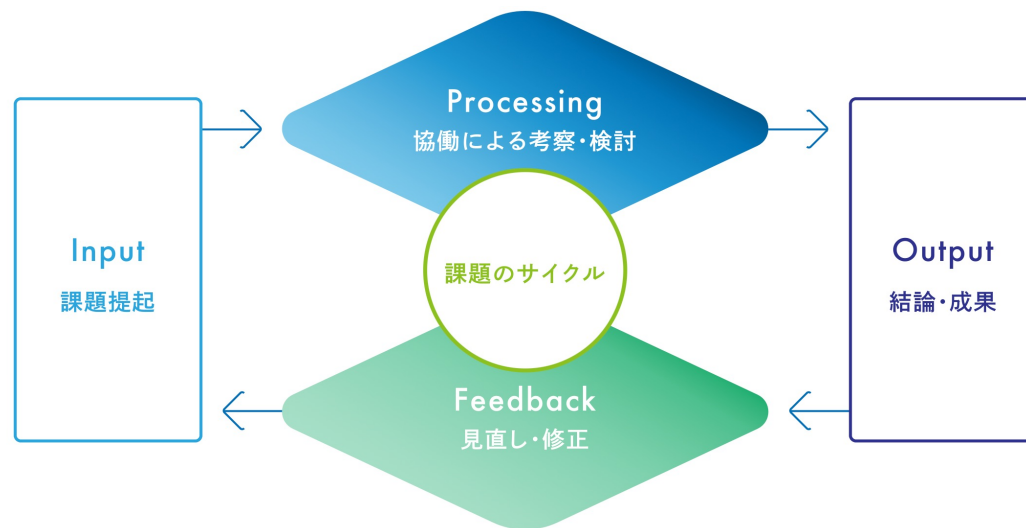
英語の実践機会を通じた、英語運用能力の把握

■ 21世紀型スキル

問題を特定し、解決策を見出し、他者と協創する力



21世紀型教育の手法



LbEが開発するすべてのプログラムは、楽しみながら、コミュニケーションを目的とした英語力を養い、深い学びを実践する手法に基づいて運営されます。

世界中から集まった多様な文化的背景を持つグローバルリーダーたちとの交流が、使える英語を使用する機会のみならず21世紀に活躍する世代に必要なスキルやリテラシーを育成する機会となります。

多様な人々との協働による豊かな学びの実現



行動力と熱い思いを持つリーダーや仲間との協働が個々の成長を応援します。

各プログラムでは、5～8名程度の参加者でグループを作り、1名の留学生がリーダーとなって一緒に活動します。リーダーは個々の参加者と向き合い、ゴールへと導きます。多国籍のリーダーとのコミュニケーションはすべて英語で行われます。



多様性と普遍性、異なる価値観からの学び。
世界への繋がりと自分の可能性への気づき。

多様な価値観を顕在化させながら協働することで、異なることの価値、普遍的な価値に気づき、世界は広く、そして繋がっていることに気づきます。さらに、そこから自分の可能性についても新たな気づきがあるはずです。

学びの価値を具現化するプログラム

LbE × GLT = GVS

プログラムデザイン・運営・評価のノウハウと、**LbE**のビジョンに共感し、
集まったスタッフの人間力が、コミュニケーションを目的とした英語力を養い、
参加者の学びの質を高めます。

日本で学ぶ留学生のコミュニティ(GLT)

LbE GLOBAL LEADERS
Creating a brighter future



多様な人材との協働体験

LbE
GLOBAL EDUCATION COMPANY

LbE HAWAII
Global Education Company

学びのデザイン力

Global Leaders Team (GLT)

GLTは、プログラムの場を提供するLbE Japanとともに「**Global Village**」を創り出し、参加者との協働を通じて学びと気づきを生み出す、行動力と思い出のあふれる留学生によって運営されるコミュニティです。

現在、101カ国、907名のグローバルリーダーが所属しています。

主要メンバー在籍校

北海道: 北海道大学
関 東: 東京大学・早稲田大学・慶応大学・筑波大学 等
関 西: 京都大学・神戸大学・大阪大学・立命館大学 等
中 部: 名古屋大学
中四国: 広島医科大学
九 州: 九州大学・立命館アジア太平洋大学・佐賀大学・長崎大学

LbE GLOBAL LEADERS
Creating a brighter future



学びの質を担保する運営体制



ファシリテーター(GLT)

運営チームの指揮を執り、プログラムの円滑な進行を管理します。

グローバルサポーター (GLT)

グループを横断し参加者の学びを深めるサポートをします。

日本人サポーター

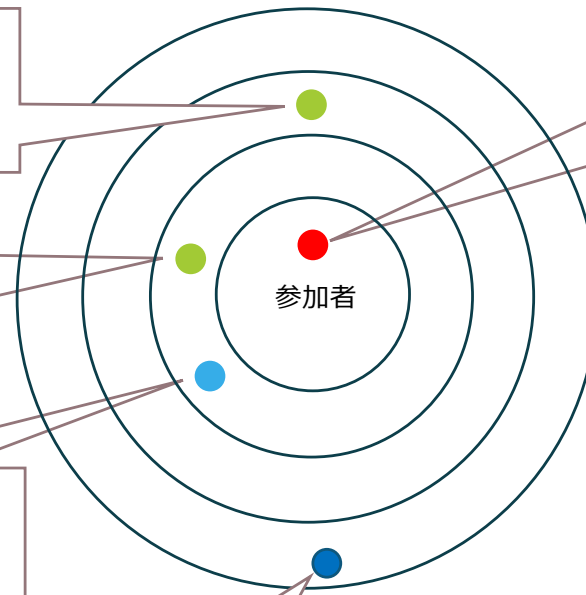
参加者が安心して活動に参加できるよう、グローバルリーダーとの架け橋となります。

プログラスマネージャー(LbE)

プログラム運営の統括責任者。
参加者や活動の状況を細かに把握し、
質の高いプログラムへと導きます。

グローバルリーダー (GLT)

参加者と最も近い立場と一緒に活動をし、プログラムゴールの実現へと導きます。



世界各国から日本に集まっているGLTメンバーの存在なくしては参加者の学びは完成しません。

LbEのスタッフが企画・デザインしたプログラムに、プログラム当日GLTメンバーの想いが加わることで、プログラムが参加者もグローバルリーダーも共に学ぶという協働・協奏の場所になります。

私たちの思いに共感した留学生の集まりが**Global Leader Team (GLT)**であり、一人一人の気持ちと行動が作用しあって、私たち(LbE × GLT)が提供している**Global Village**となります。

参加者が安心して学べる環境づくり

プログラムの大切な4つのルール

参加者が自分自身と他者を尊重し、共通の目標に向かうためのルール

Don't be shy!

自信を持って自分を表現しよう!

Speak in English!

共通言語の英語で話そう!

Mistakes are Okay!

間違いを恐れず挑戦しよう!

Leave no one behind!

仲間同士ともに助け合おう!

参加者の学びをガイドするワークブック

参加者が自分の学びを促進するためのツール

プログラムではプログラムゴールに沿ってデザインされたワークブックを使用します。ワークブックに活動の目的と目標を明示し、考え方の方向性を示すことで、参加者が自ら考え、問題を解決し、議論することを促します。



参加者の身近なロールモデル 日本人サポーター

日本人サポーターは、留学や国際交流の経験が豊富な大学生や社会人です。参加者の状況や感情に寄り添い、グローバルリーダーと参加者との架け橋となることで、誰一人取り残されることなく、安心して活動に参加できるようサポートします。そんな彼らの行動や言葉は参加者に影響を与え、若い世代の参加者へのインスピレーションとなるでしょう。

多様性と経験豊かな グローバルリーダー

Global Leaders Teamは、独自の評価システムを用いて、メンバーの国籍、経験、特性を管理しています。参加者や学校の特性に合わせて適切な運営メンバーをアサインし、全ての参加者が安心して学べる環境を提供します。また、システムを利用してメンバーのスキルや成長状況を評価し、プログラムやトレーニングの機会を通じて、メンバーのさらなる成長を支援しています。

社会のニーズに対応して進化し続ける プログラムデザイン

研修の目的に応じて、テーマや活動をデザインします！

実施期間は4時間～5日間で自由に設定が可能です。



異文化が自分の世界と可能性を広げる

異なる文化や背景を持つ人々との協働から異文化との共存や相互理解を学び、グローバル社会において、自分らしく活躍するために必要な力を育みます。

地域と世界の未来を変えるSDGs

世界的な目標であるSDGsを理解し、複雑な社会問題を「誰かの問題」ではなく「自分にも関わる問題」と捉え、解決に挑む意欲と力を育みます。



Global Peace Study Program

-Face through the yes of diversity

「平和」について世界規模で考える

多様な価値観や背景を持つ「人」を通じて、自分たちとは異なる「幸せとは？」「平和とは？」の定義にふれます。平和を実現するために、世界の一員として日常の中で自分ができることを考えます。

世界に触れ自分を知る自己探求

異なる文化や価値観に触れ、新たな自己理解や視野を得ることで、自分自身が望むキャリアや人生の方向性を見出します。



自分の世界と可能性を広げる **異文化**

異なる文化背景や価値観を持つ人々と協働するために必要な姿勢とスキルを学ぶ。

- 異なる文化や習慣に対する理解を深め、自国の文化を再認識する。
- 相手の立場や考え方を理解し、多様な価値観を尊重することで、相互理解を深める。
- グローバル社会において、自分自身が主体的に活躍できるようにたなるために必要な**3つのスキル（課題解決・協働・対話）**を磨く。

教育的価値（Can Do）

- 異なる文化や習慣に興味を持ち、自分自身の文化と比較して日本との違いや共通点を理解する。
- 異文化や英語学習に対する意義を感じ、自発的に学ぶ意欲を育む。
- 同じ目的に向かう仲間との協働を通じて、他者との共感力と寛容性を育む。
- 異なる文化や価値観に触れ、新たな視点や考え方を得る。

世界のどこでも自分らしく活躍できる力を育む。

協働・多様性



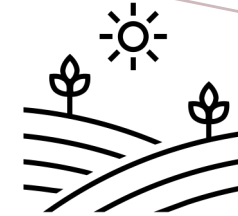
世界中の『人』を通じて
ふれるリアルな世界

興味・関心 探究



未知の世界への好奇心が
扉をあける

自分の世界と可能性を広げる 異文化



代表的な活動内容

■ 不思議の国日本 Wonderland Japan

グローバルリーダーが日本で体験したカルチャーショックについて紹介します。参加者は、異なる文化背景を持つグローバルリーダーの視点から、自分たちの文化の特徴や価値観を再確認します。

■ 世界探検 Explore the World

グローバルリーダーが自分の母国の文化や生活について紹介します。異なる文化や習慣に触れ、自分が持っている固定観念や偏見を見直し、新しい価値観を得る機会となります。

■ サバイバルイングリッシュ

ジェスチャーゲームやピクショナリーなど、言語だけに頼らずコミュニケーションを図るゲームを行います。ゲームを楽しみながら、コミュニケーションスキルやクリエイティブな思考力、チームワークなどを養います。

■ グループ・プレゼンテーション

「異文化理解が広げる未来」をテーマにグループでプレゼンテーションを行います。参加者は異文化に触れて学ぶことが、自分自身や周囲の人々、そして社会全体にどのような影響を与えるかについて考えます。



参加者の声

- ・ 英語を授業の一環と思うと、苦手だから伸びない。コミュニケーションの取り方が分かってから楽しくなり、もっと学びたい気持ちになった。
- ・ 私たちに自信を与えようとしてくれたグローバルリーダーの純粋な優しさに、私は何度も救われました。
- ・ 日本についてまだまだ知らないことがあると気付かされました。むしろ違う文化を知っているからこそ見えることがあるということを学びました。

世界の人々と共に考え、創る 平和

様々な「平和」を知り、背景の異なる他者との共存に必要な姿勢とスキルを学ぶ

- 地域や社会的背景によって異なる平和に対する定義や価値観について知る。
- 日本の平和国家としての歩みから、現在と未来の平和をつなげるために必要なことを考える。
- 地球市民としての自覚を持ち、多様な価値観を尊重しながら、平和の実現に寄与するための**3つのスキル（課題解決・協働・対話）**を磨く。

教育的価値（Can Do）

- 日本が歩んできた平和の歴史や、現在の国際情勢について理解を深める。
- 自らが平和の体現者としての責任や意欲を持ち、行動することの重要性を理解する。
- 同じ目的に向かう仲間との協働を通じて、他者との共感力と寛容性を育む。
- 異なる文化や価値観に触れ、新たな視点や考え方を得る。

過去から現在を知り、未来につなげるために。



世界の人々と共に考え、創る 平和

Global Peace Study Program

-Peace thorough the eyes of diversity

代表的な活動内容

■ フラッグメイキング

参加者同士で平和について話し合い、共有した考え方をもとに、「平和な社会を象徴する旗」を作成します。自分たちの手で作り出すことで、平和を実践することの重要性を感じ、意識を高めます。

■ グローバルリーダーによるプレゼンテーション

グローバルリーダーが、自らの経験や考えを交えながら、「母国が抱える社会課題と平和の意味」についてプレゼンテーションを行います。異なる文化や歴史的背景からくる「平和」の定義の多様性について学びます。

■ フィールドワーク

「未来に残したいもの」をテーマに、グローバルリーダーと共に現地のフィールドを巡り、平和を築くための手がかりを探します。日本とグローバルリーダーの母国を比較し、意見を交換しながら、平和の実現に必要な要素を明らかにします。

■ グループ・プレゼンテーション

「未来をつくるための平和：私たちの責任と使命」をテーマにグループでプレゼンテーションを行います。自分自身が平和に向かって生きているかを振り返り、改善するための具体的な行動について考えます。



"Do you know
how lucky you are?"

自分がどれだけ幸せか知ってる？

参加者の声

- 平和は「一人一人が人間として生きられる事」だと思った。戦争がなくなれば平和なのではなく、失業や飢餓や環境 汚染、宗教問題、言論の自由など、それらが解決されてはじめて平和と言えるのだと思う。
- 「人の嫌がることはしない」「人を互いに尊重し合う」ということは、私達が小さい頃から学んできたこと。平和が実現されていないということは、それができていないということなので、自分の出来る範囲でも平和は実現できると思った。

地域と世界の未来を変える **SDGs**

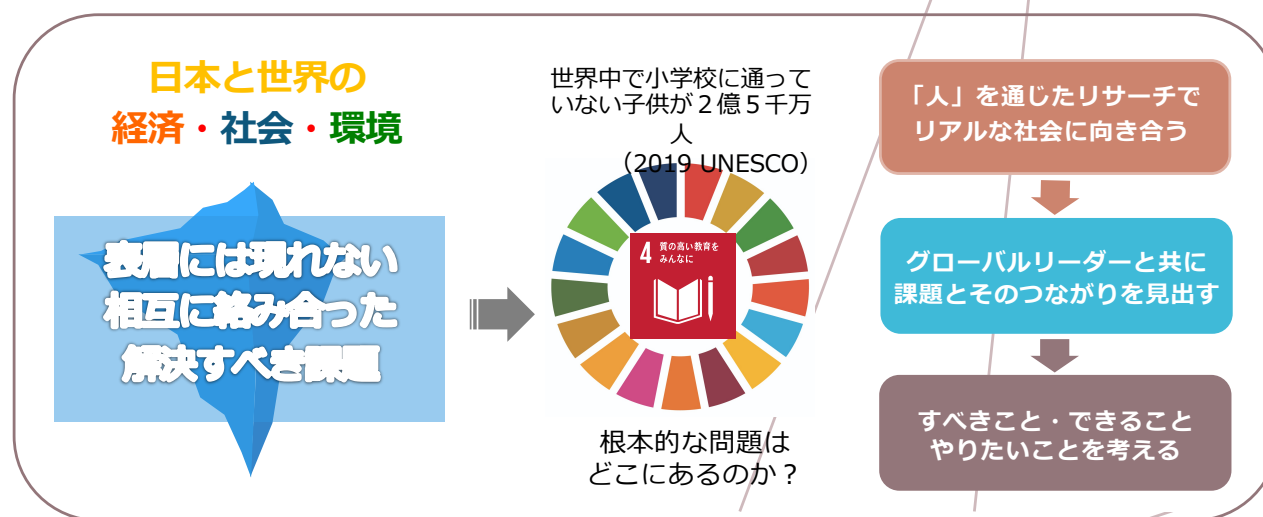
地球規模課題を学び、立場の異なる人々と協力しながら、地域で主体者として行動を取るために必要な姿勢とスキルを学ぶ

- 社会課題を「自分ゴト化」する。
- 世界的な目標である**SDGs**を理解し、地域が抱える課題とのつながりを見出す。
- 持続可能な社会の担い手として、多様な価値観を尊重しながら社会に貢献するための**3つのスキル（課題解決・協働・対話）**を磨く。

教育的価値（Can Do）

- 自分が住む地域や社会の問題について理解を深める。
- 社会に対する責任感を持ち、社会に貢献することの大切さを学ぶ。
- 同じ目的に向かう仲間との協働を通じて、他者との共感力と寛容性を育む。
- 異なる文化や価値観に触れ、新たな視点や考え方を得る。

表情が変わる → 意識が変わる → 行動が変わる → 未来が変わる



地域と世界の未来を変える **SDGs**



代表的な活動内容

■ フォトランゲージ

世界に存在する様々な社会課題を表す写真を見て、問題が人々に与える影響や、人々が抱える感情を考え、その問題に対する共感や理解を深めます。

■ グローバルリーダーによるプレゼンテーション

グローバルリーダーが、母国が抱える社会課題とSDGsへの取り組みについて、自らの経験や考えを交えたプレゼンテーションを行います。SDGsに向き合う上で重要なことや、これからの世界に必要なリーダーシップについて学びます。

■ フィールドワーク

グローバルリーダーとフィールドを巡りながら「持続可能な街づくり」の到達度や課題について調査します。参加者の地元、そしてグローバルリーダーの母国と比較しながら意見を交わし、課題解決のアイデアを探ります。

■ グループ・プレゼンテーション

「地域や社会が抱える課題に対する自分たちのアクション」をテーマにグループでプレゼンテーションを行います。課題解決という共通の目的のために仲間と共創し、より良い社会をつくるための一歩を踏み出します。



参加者の声

- ・ 留学生の母国の現状を聞いて、日本とは180°違う社会課題を抱えていて、知らないことがたくさんあり、もっと世界に目を向けないといけないと思いました。
- ・ 留学生の世界を変えたいという熱意に押され、私のプロジェクトに対する意識も変わりました。問題に向き合うことの大切さを学びました。
- ・ 世界中の問題について他人事ではなく自分ごととして捉えやすくなった。

世界に触れ自分を知る自己探求 **キャリア**

多様な価値観や生き方を学び、今後の情報化社会・グローバル社会の中で自己の幸福感や自己実現に必要な姿勢とスキルを学ぶ

- 多様な生き方を知り、自分自身の価値観や人生観を深める。
- 自己実現を通じた社会貢献のつながりを理解する。
- グローバル社会において、自分自身が主体的に活躍できるようにたなるために必要な**3つのスキル（課題解決・協働・対話）**を磨く。

教育的価値（Can Do）

- 自分自身が大切にしたいものや、人生で優先すべき価値観を再確認する。
- 自分自身の強みや興味を把握し、将来の進路や人生設計について考える。
- 同じ目的に向かう仲間との協働を通じて、他者との共感力と寛容性を育む。
- 異なる文化や価値観に触れ、新たな視点や考え方を得る。

多様な人と、夢（未来）＝生き方（自分の価値観）について考える。



世界に触れ自分を知る自己探求 **キャリア**

代表的な活動内容

■ 不思議の国日本 Wonderland Japan

グローバルリーダーが日本で体験したカルチャーショックについて紹介します。参加者は、異なる文化背景を持つグローバルリーダーの視点から、自分たちの文化の特徴や価値観を再確認します。

■ グローバルリーダーによるプレゼンテーション

グローバルリーダーが、「Why I Study in Japan」というテーマでプレゼンテーションを行います。日本で学ぶことを決意した理由と自信の将来の夢について話し、参加者に夢を持つことの大切さを伝えます。

■ マイロールモデル

自分のロールモデルの持つ価値観や資質を分析し、自分自身が見習いたい資質を明確にします。これにより、参加者は自己認識を深め、成長と自己実現の意欲を高めることができます。

■ グループ・プレゼンテーション

「Design our future」をテーマにグループでプレゼンテーションを行います。参加者は多様な生き方（選択肢）に触れ、自分達が望む未来や生き方について考えます。



参加者の声

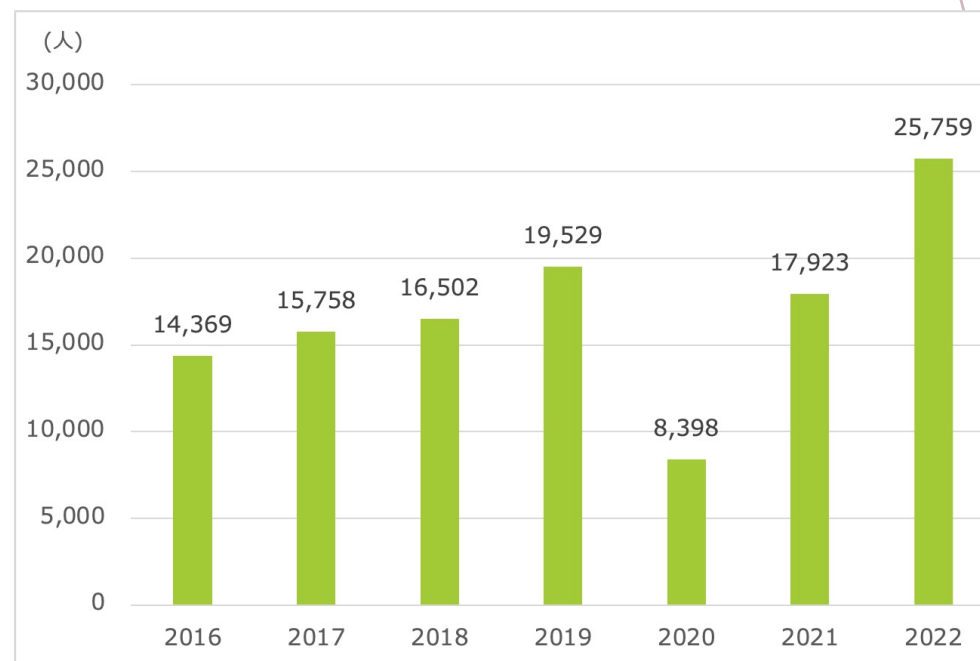
- ・ 夢について考えることがなかったけれど、これから具体的に何がしたいのか考えられるようになった。
- ・ グローバルリーダーから自分の夢をもっと大切にし、なんでもチャレンジしてみることが大事と言われました。何事にも前向きに取り組もうと思いました。
- ・ 夢を持つことに不安を感じていましたが、夢を持つことで強くなれ、近づくことができる学びました。目の前のことをこなすだけでなく、持っているからこそ頑張れる夢を持ち、努力していこうと思います。

運営実績

全国、そして海外に広がるLbEネットワーク。
東京・大阪・福岡そしてハワイに拠点があり、
日本全国ほぼどこでも、またハワイ、台湾で
もプログラム提供が可能です。

25年以上のプログラム企画・運営実績があり、
年間200団体、25,000人以上の方に利用されて
います。

GVS（Global Village Students）参加者数の推移



Global Village for Students の採用事例

- 小中高校、大学の学校行事として
（修学旅行・オリエンテーション合宿・語学研修・海外研修の事前事後学習など）
- 自治体・教育関連機関が主催する人材育成研修として
- 企業の人材育成研修として

お問い合わせから実施までの流れ

お問い合わせ

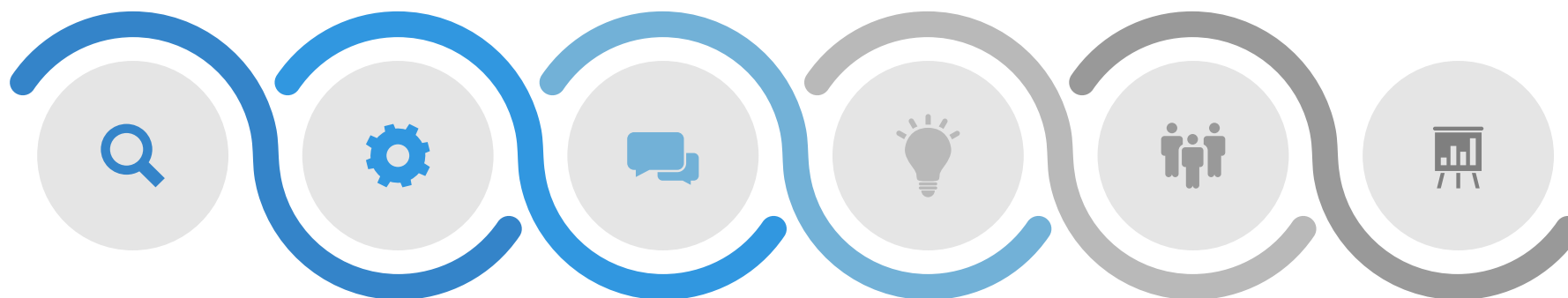
- ・学校名 ・参加人数
 - ・実施日時 ・実施内容
- 等をお伺いいたします。

プログラムデザイン

研修案を作成、ご提案
します。弊社スタッフ
が学校へ同行し、ご説
明も対応可能です。

プログラム実施

弊社の日本人スタッフ
が帯同し、プログラム
を運営します。



ヒアリング

学校が解決したいこと、
実現したいことなどを
お伺いします。
学校へのご同行も可能
です。

打合せ・調整

実施に向け、具体的
なプログラム内容の
打合せ・調整を行っ
ます。

振り返り

参加者の学びの振り返りをデータ化した
ものをお届けします。
改善点などを確認し
ます。

本社所在地

〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門1-8-8

ベイサージュ大手門 502

TEL : 092-791-6581

[営業日: 月曜日～金曜日 (祝日を除く)]

大阪オフィス

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-24-15

タツト肥後橋ビル602

東京オフィス

〒135-0064 東京都江東区青海2-7-4

the SOHO 824

LbE Group
GLOBAL EDUCATION COMPANY

